

令和4年度圏域の事業評価

(中部地区)

吉身学区

玉津学区

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|--|-------------------|-------|---|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 総合相談支援業務 | | |
| 基幹からの重点事項 | 担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民が地域の相談窓口として認識できる取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 地域におけるネットワーク構築 | 担当地区における民生委員・児童委員、生活支援コーディネーターや関係機関等との信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築および整備を行う。 | | ○ | |
| | 自治会館に頻繁に足を運ぶようにし、会館職員や地域住民と顔の見える関係づくりを行い、地域のネットワークやインフォーマルサービス等を把握する。 | | ○ | |
| 2 高齢者の実態把握 | 地域の会議や行事等でのチラシ配布や圏域地域包括支援センター主催の行事を行うことで、地域住民・事業所等に中部地域包括支援センターの周知を行い、地域からの情報収集を図る。 | ○ | | |
| | | | | |
| 3 相談窓口機能 | 初期のアセスメントを適切に把握し、ニーズの把握を的確に行う。課題整理を行った上で適切な機関、制度、サービスにつなげる。 | ○ | | |
| | 消費生活センターや警察等と連携を図り、被害に遭った高齢者の状況等について把握を行い、再発防止の支援を行う。 | | ○ | |
| 4 専門的な相談支援 | 困難事例については各職種の特徴を生かしながら課題整理を行い、支援の方向性を明確化し対応を行う。必要に応じて基幹型、関係機関職員と連携して対応する。 | ○ | | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 依頼のあったすべての出前講座で相談先と包括の役割についてチラシを用いて具体的に説明し、包括の周知を図った。また、出前講座にて参加された高齢者に具体的な困りごとなどを直接聞くようにし、地域課題の把握に努めた。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | コメント | | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 様々な場において、包括の周知ができていた。実際の住民の困りごと等について、情報収集できている。引き続き、地域課題を把握し、地域活動に活かしていくこと。 |
| | ○ | | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|--|-------------------|-------|---|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 権利擁護業務 | | |
| 基幹からの重点事項 | 住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 高齢者虐待への対応 | 民生委員・児童委員、地域住民や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。 | | ○ | |
| | 通報を受理したときは、虐待支援マニュアルに基づき、必要に応じて基幹型包括と連携し迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。 | ○ | | |
| 2 成年後見制度等の活用促進 | 権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるよう関係機関や住民への周知啓発を行う。 | | ○ | |
| | 認知症などにより判断能力の低下がみられる方には成年後見制度を適時活用できるように支援する。任意後見制度についても必要に応じて活用できるよう、職員の研修等を行う。 | | ○ | |
| 3 消費者被害の防止 | 訪問時やサロン、圏域包括主催の行事等にて消費者被害の有無などの情報を収集し、消費者被害予防の周知・啓発活動を行う。 | ○ | | |
| | 消費生活センターや警察等と連携を図り、被害に遭った高齢者の状況等について把握を行い、再発防止の支援を行う。 | | ○ | |
| 4 その他 | | | | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 通報を受けた際には長寿政策課や基幹包括と連携し迅速に対応できた。出前講座にて高齢者の人権や消費者被害について講演ができ、またこもれびカフェにおいても消費生活窓口担当者に来ていただき、消費者被害についての普及啓発ができた。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 虐待対応については、関係者と連携を図りながら対応できている。消費者被害について、周知啓発を行っており、引き続き高齢者の権利擁護について周知、啓発に努めること。 |
| | ○ | | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|---|---|---------------------|-------|--|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | | |
| 基幹からの重点事項 | 地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 包括的・ 継続的ケアマ ネジメント支 援 | 介護支援専門員が抱える困難事例について、共に課題を整理し支援の方向性について検討し、後方支援を行う。 | | ○ | |
| | 個々の困難事例の抱える課題を整理し、地域の課題として捉える視点を介護支援専門員と共有し、解決策を検討する。 | | ○ | |
| 2 包括的・ 継続的ケアマ ネジメントを 行うための環 境整備 | 地域の高齢者に関わる団体、事業所の活動内容を把握し、実際に足を運んで顔の見える関係づくりを推進する。 | | ○ | |
| | 地域の主任介護支援専門員と共に、介護支援専門員のアセスメント力や対応力の向上を目指す。 | | ○ | |
| 3 地域にお けるネット ワーク構築 | 地域住民と介護支援専門員との顔の見える関係づくりのために、事例検討等共に地域課題を検討する機会をつくる。 | | | ○ |
| | 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモートでの会議が中部包括発信で行えるように環境を整備する。 | | | ○ |
| 4 その他 | | | | |
| | | | | |
| 圏域の 自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 地域の介護支援専門員に対する後方支援については、困りごとや新たな視点の提案など個別のケースでの検討等で行うことができた。一方で地域住民と介護支援専門員との顔の見える関係づくりについては十分に行えなかった。 | | | |
| 基幹からの 評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 個別のケースにて、介護支援専門員と連携を図りながら対応できている。今後は、介護支援専門員と地域住民を含めた事例検討等、地域支援ネットワークの構築に取り組むこと。 |
| | | ○ | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------|--|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 在宅医療・介護連携推進事業 | | |
| 基幹からの重点事項 | 地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫してできている | できている | 工夫が必要 |
| 1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発 | 中部包括において、市民への在宅療養・看取りやエンディングノートの普及啓発活動に関する出前講座を開催する。 | | ○ | |
| | | | | |
| 2 在宅医療・介護連携に関する相談支援 | 病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。 | | ○ | |
| | | | | |
| 3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携 | 本人や家族が不安なく最後まで自宅で療養できる支援体制を整えるため、在宅医療・介護連携サポートセンターや病院等が行う事例検討会や研修会等に参加し、事例に対する多職種連携の実践を学び、顔の見える関係づくりを推進する。 | | ○ | |
| | | | | |
| 4 その他 | | | | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 圏域主催の家族介護者教室やこもれびカフェ、出前講座にてエンディングノートの講演を行い、普及啓発に努めた。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫してできている | できている | 工夫が必要 | 病院等と連携を図りながら、在宅療養への支援を実施できている。今後も引き続き、エンディングノートや在宅看取りについての周知啓発を行うこと。 |
| | | ○ | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価:中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------|--|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 認知症総合支援事業 | | |
| 基幹からの重点事項 | 認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 認知症に関する正しい知識の普及啓発 | 認知症サポーター養成講座の未実施の地域を把握し、積極的に講座開催に係るアプローチを行い、地域に認知症の正しい知識の普及啓発を図る。 | | ○ | |
| | 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、守山市キャラバンメイト、認知症サポーターとの共労が少なかった。顔の見える関係を構築し、情報交換の機会を持つ。 | | ○ | |
| 2 認知症初期集中支援の推進 | 「もの忘れ相談プログラム」をサロン等で活用し、認知症の早期発見・早期治療・早期支援につなげる。 | | | ○ |
| | 早期から認知症の人に関わり、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。 | | ○ | |
| 3 認知症の人やその家族への支援 | 認知症の人やその介護者が集い、介護者の負担軽減や悩みの解消ができる居場所づくりや相談場所として認知症カフェを開催する。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応や参加しやすい場所で開催する。 | ○ | | |
| | 認知症による行方不明高齢者への迅速な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。 | | ○ | |
| 4 その他 | 行方不明高齢者SOSネットワーク事前登録を推進し、行方不明となった場合に早期発見・対応ができるよう支援する。 | | ○ | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 自治会長会にて認知症サポーター養成講座について説明したところ、未実施だった自治会より依頼をいただき実施することができた。認知症カフェは認知症の人の参加が継続的にあり、介護サービスに繋がらない人の唯一の居場所になっているケースもある。男性が比較的多いことも特徴である。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等において、認知症についての周知啓発、支援を実施できている。引き続き地域特性を考慮した事業展開や支援を進めていくこと。 |
| | ○ | | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価:中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------|---|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 地域ケア会議推進事業 | | |
| 基幹からの重点事項 | 地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 地域ケア会議の開催 | 介護支援専門員と協働し、中部地区のケースを地域ケア個別会議にあげ、地域の現状や課題を抽出する。 | | ○ | |
| | | | | |
| 2 資源開発および政策提言 | 地域ケア個別会議での検討事項や解決困難な事例の課題を整理し基幹型包括に報告するとともに、地域ケア推進会議などで政策提言を行う。 | | ○ | |
| | 日常でのケース対応や地域ケア個別会議での検討事項を踏まえて、不足している資源を社会福祉協議会と共有し、地域資源の開発に努める。 | | | ○ |
| 3 その他 | | | | |
| | | | | |
| 事業全体についての総括 | | | | |
| 圏域の自己評価 | 地域課題の検討は圏域内で行っているものの、解決に向けての具体的活動や政策に繋がっていない。課題を共有できる仕組み作りを行っていかなければならない。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 個別のケースにおいて、地域ケア個別会議を実施し、個別課題の整理ができている。引き続き、抽出された課題を積み上げ、地域課題の抽出を行い、抽出された地域課題について、市の地域ケア推進会議に提言すること。 |
| | | ○ | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価:中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------|---|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 家族介護支援事業 | | |
| 基幹からの重点事項 | 家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 家族介護者支援事業 | 家族介護者教室を5回シリーズ年1回開催し、介護の知識・技術の習得と参加者の交流による介護負担の軽減を図る。 | ○ | | |
| | 中部地区における男性高齢者（介護者含む）の交流の状況やニーズを把握し、交流の機会を増やせるよう方策を検討する。 | | ○ | |
| 2 家族介護者訪問 | 認知症介護者に対し訪問を行い、介護者の健康状態と介護状況を把握する。また、介護支援専門員と連携し介護者の介護負担の軽減が図れるよう支援する。 | | ○ | |
| | 支援が必要な介護者に対し、継続した訪問でフォローを行い介護に対する不安や負担感の軽減に努める。 | | ○ | |
| 3 その他 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 家族介護者教室を5回シリーズで開催。排泄介助についてオムツの選び方などの希望が多く、本年も開催し好評を得た。ケアメン・イケオジプロジェクトやこもれびカフェなどで男性高齢者のニーズを聞き取ったところ、「自分が得意なことや趣味を続けていることをみんなに披露したい」というニーズがあった。今後こもれびカフェの企画に活かしていきたい。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 地域住民のニーズを捉えながら企画、対応できている。地域特性を捉えて、引き続き介護負担の軽減、虐待防止に努めること。 |
| | ○ | | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------|-------|---|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 介護予防ケアマネジメント | | |
| 基幹からの重点事項 | 高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況(自己評価) ※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 自立支援・重度化防止等への取組 | 「お口のフレイル」予防の必要性について知識を深め、出前講座等を活用し、「お口のフレイル」予防の啓発に努める。 | | ○ | |
| | | | | |
| 2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援 | 生活機能を改善する必要がある高齢者に対してアセスメントし、生活動作の改善に必要な運動器の機能向上を目指す等適切なサービス利用につなげる。 | | ○ | |
| | 新型コロナウイルスによる閉じこもりからのフレイル予防に重点をおき、「守山プラス体操」のDVD等を活用することで自宅でもできる運動の普及を促進する。 | | | ○ |
| 3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保 | 基幹型包括と情報共有し、公平中立な事業所選定を行う。 | | ○ | |
| | | | | |
| 4 その他 | | | | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | 圏域主催の介護予防教室にて口腔や栄養面からのフレイル予防の講演を行った。また、地域での出前講座2か所にてオーラルフレイル予防の講演を行う必要がある。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 介護予防についての啓発が実施できた。今後も、インフォーマルサービスの開発、推進等、介護予防の推進に向けて取り組むこと。 |
| | | ○ | | |

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

| 令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------|--|
| 地域支援事業 | 包括的支援事業 | 一般介護予防事業 | | |
| 基幹からの重点事項 | 地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。 | | | |
| 事業内容 | 令和4年度 圏域の計画 | 実施状況（自己評価）※いずれかに○ | | |
| | | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 |
| 1 介護予防把握事業 | 総合相談・訪問などから閉じこもり等で支援を必要とする人を早期に把握し、地域での通いの場などへの参加を促進する。 | | ○ | |
| | 地域に向けての介護予防の出前講座を実施し、地域全体での介護予防の意識の向上を図る。 | ○ | | |
| 2 介護予防普及啓発事業 | 介護予防教室や出前講座を実施し、各地域で介護予防活動の輪が広がるように支援する。 | | ○ | |
| | | | | |
| 3 地域介護予防活動支援事業 | 中部地区の各自治会において、高齢者の居場所・介護予防活動支援の拠点となる取組を推進する。 | | | ○ |
| | | | | |
| 4 その他 | まだ出前講座等行えていない自治会にアプローチし、介護予防についての啓発活動を行う機会を持つ。 | | ○ | |
| | | | | |
| 圏域の自己評価 | 事業全体についての総括 | | | |
| | フレイル予防とプラス体操について、地域の出前講座5か所と中部包括の介護予防教室を実施し、フレイル予防の大切さとプラス体操について周知した。特にオーラルフレイル予防と口腔体操についての啓発に力を入れた。 | | | |
| 基幹からの評価 | 重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ | | コメント | |
| | より工夫して できている | できている | 工夫が必要 | 介護予防教室や出前講座で、介護予防の周知啓発に努めた。今後も、地域住民が主体となって取り組める介護予防の推進に取り組むこと。 |
| | | ○ | | |

(様式4)

令和 5 年 4 月 1 日

守山市基幹型地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所の選定支援にかかる自己評価表

事業所名 守山市中部地区地域包括支援センター

令和 5 年 3 月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数 (令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)

| 居宅介護支援事業所名 | 件数 | 主な決定理由 |
|-----------------------------|----|--|
| (福) 守山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 | 20 | <ul style="list-style-type: none">・ 家族の希望を受け圏域包括が調整 (9 件)・ 即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (6 件)・ 困難ケース受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (4 件)・ 要支援者受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (1 件) |
| すこやか生活支援センター居宅 介護支援事業所 | 16 | <ul style="list-style-type: none">・ 要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整 (8 件)・ 即応可能な事業所を圏域包括が調整 (6 件)・ 本人の希望を受け圏域包括が調整 (1 件)・ 家族の希望を受け圏域包括が調整 (1 件) |
| (福) 慈恵会 ゆいの里守山 居宅介護支援事業所 | 10 | <ul style="list-style-type: none">・ 即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (3 件)・ 本人の希望を受け圏域包括が調整 (3 件)・ 要支援者受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (2 件)・ 家族の希望を受け圏域包括が調整 (2 件) |
| (福) 友愛 三宅ケアセンター | 7 | <ul style="list-style-type: none">・ 即対応可能な事業所を圏域包括が調整 (3 件)・ 要支援者受け入れ可能事業所を圏域包括が調整 (3 件)・ 家族の希望を受け圏域包括が調整 (1 件) |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 居宅介護支援事業所しがせせい苑 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（3件） ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件） |
| しみんふくし滋賀野洲居宅介護支援事業所 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（2件） ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件） |
| ケアプランなかさと CCS | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件） ・医療に強い事業所のため（1件） ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件） |
| あいむケアプランセンター | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件） ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件） |
| 居宅介護支援事業所 彩り | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（2件） |
| ケアプランセンター楓 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件） ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（1件） |
| びわこメディカル | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・困難ケース受け入れ可能事業所を圏域包括が調整（1件） ・本人の希望を受け圏域包括が調整（1件） |
| 野洲すみれ苑居宅介護支援事業所 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（2件） |
| （特非）ゆうらいふ ゆうらいふ居宅介護支援事業所 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・即対応可能な事業所を圏域包括が調整（1件） ・知人や家族が利用しているため（1件） |
| 居宅介護支援事業所ふじ | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（1件） |
| ケア・サポート愛居宅介護支援事業所 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者受け入れ可能な事業所を圏域包括が調整（1件） |
| 居宅介護支援事業所 ふくろうさん | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件） |
| メディケア居宅介護支援事業所 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の希望を受け圏域包括が調整（1件） |

<令和5年3月末現在 調整件数 79件>

2 居宅介護支援事業所の情報提供方法や決定の支援について偏りがないか。

(いずれか一つに○)

- A 公正・中立である
- B ほぼ公正・中立である
- C 公正・中立に欠けている

〈全体評価〉

件数としては自法人が 20 件と多いが、利用者・利用者家族に希望を聞くと吉身・玉津学区ということもあり、石田デイサービスセンターの存在を知っておられる人が多く、土日も対応可能ということで選ばれる利用者家族が多かった (9 件)。

全体としては申請直後で認定の出ていないケースを紹介することが多く、要支援でも対応してもらえない事業所を探すもなかなか受けてもらえない状況があった。その中でも偏りなく依頼をさせていただいた。

また、即対応可能な事業所を探すことが多く、本人や家族の希望を聞きつつ即対応できる事業所を偏りなく依頼をさせていただいた。

居宅介護支援事業所の選定支援については公正・中立であると言える。

(様式4)

令和4年度収支計算書および収支決算書

守山市(中部地区)地域包括支援センター

(単位:千円)

| 区分 | 項目 | | R4 予算額 | | R4 決算額 | | R3 決算額 | | 増減 R4-R3 |
|------------|---------|----------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|------------------|-------------|
| | | | 金額 | 積算根拠 | 金額 | 説明 | 金額 | 説明 | |
| 収入 | 委託料 | 市地域包括支援センター委託料 | 29,594 | | 29,594 | | 29,594 | | 0 |
| | その他収入 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| | 収入合計(a) | | 29,594 | | 29,594 | | 29,594 | | 0 |
| 支出 | 人件費 | 正規職員(2人) | 15,837 | 賞与、社保、退職共済含 | 14,903 | 賞与、社保、退職共済含 | 14,525 | 賞与、社保、退職共済含 | 378 |
| | | 臨時職員(3人) | 11,764 | | 10,550 | | 10,157 | | 393 |
| | 事務費 | 報償費 | 20 | 外部講師謝礼等 | 14 | 外部講師謝礼等 | 5 | 外部講師謝礼等 | 9 |
| | | 旅費 | 30 | 外部研修参加費、研修交通費 | 0 | 外部研修参加費、研修交通費 | 23 | 外部研修参加費、研修交通費 | -23 |
| | | 消耗品費 | 275 | 事務用品、日用品等 | 40 | 事務用品、日用品等 | 84 | 事務用品、日用品等 | -44 |
| | | 燃料費 | 60 | 車両燃料費 | 26 | 車両燃料費 | 36 | 車両燃料費 | -10 |
| | | 印刷製本費 | 95 | コピーカウント料金、封筒印刷代等 | 103 | コピーカウント料金、封筒印刷代等 | 75 | コピーカウント料金、封筒印刷代等 | 28 |
| | | 医薬材料費 | 65 | 消毒液、マスク等 | 15 | 消毒液、マスク等 | 20 | 消毒液、マスク等 | -5 |
| | | 通信運搬費 | 500 | 電話料金、携帯電話料金、郵送料等 | 544 | 電話料金、携帯電話料金、郵送料等 | 501 | 電話料金、携帯電話料金、郵送料等 | 43 |
| | | 保険料 | 118 | 自動車任意保険、社協の保険等 | 108 | 自動車任意保険、社協の保険等 | 169 | 自動車任意保険、社協の保険等 | -61 |
| | | 使用料および賃借料 | 680 | 公用車、PC、コピー機リース、水道光熱費等 | 748 | 公用車、PC、コピー機リース、水道光熱費等 | 649 | 公用車、PC、コピー機リース料等 | 99 |
| | | 委託料 | 10 | 振込手数料等 | 0 | 振込手数料等 | 0 | 振込手数料等 | 0 |
| | | 備品購入費 | 40 | 事務備品等 | 24 | 事務備品等 | 0 | | 24 |
| | | 修繕費 | 80 | | 0 | | | | 0 |
| | | | | | | | | | 0 |
| その他雑費 | 20 | お茶代、他諸経費 | 2 | お茶代、他諸経費 | | | 2 | | |
| 支出合計(b) | | 29,594 | | 27,077 | | 26,244 | | 833 | |
| 収支差(a)-(b) | | 0 | | 2,517 | | 3,350 | | -833 | |

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日および収支決算を記載して下さい。